

榎原公苑

生涯スポーツの拠点でもあり、都市公園として”やすらぎ”を感じさせる再整備が予定される地区

整備のコンセプト:

魅力とやすらぎを感じる榎原公苑づくり

R2.7改訂

◆植栽景観の現状の課題

- ・樹木の成長により、鬱蒼とした印象を与える。
- ・育ち過ぎた樹木や繁茂する雑草により、エントランスの空間的なインパクトが低下している。
- ・植栽の管理が不十分である。

課題解決への主な対応

- ・適切な植栽管理による都市公園としての魅力の向上
- ・公園整備と統一感のある植栽の実施(検討)

【今後の連携方策】 道路管理者、施設管理者、市および地域住民等の協働による、おもてなしの景観づくり。

◆エリアの特徴的な景観



□第一体育館～テニスコート沿道

管理

樹木の剪定や雑草の除去等適切な植栽管理を行うことで、来園者にやすらぎを感じさせる景観づくりを図る



□ジョギングコース

管理

樹木の剪定や雑草の除去等適切な植栽管理を行うことにより、魅力あるジョギングコースづくりを図る



□畝傍御陵前駅からのエントランス周辺

長期 駅からのメインエントランスとしての再整備と連携した植栽を実施し、おもてなしの景観づくりを図る

現況写真



□陸上競技場・多目的広場周辺

長期 榎原公苑へのメインエントランスとしての再整備と連携した植栽を実施し、おもてなしの景観づくりを図る

現況写真



□榎原神宮前駅からのエントランス周辺

長期 駅からのメインエントランスとしての再整備と連携した植栽を実施し、おもてなしの景観づくりを図る

現況写真

